

対象国の条件 :日本の地域産業振興施策を真摯に学びその模倣/実現を図ろうとする国/地域

研修コース番号 : (A) 201984846-J002/ (B) 201984975-J002

案件番号 : (A) 201984846/ (B) 201984975

主分野課題 :民間セクター開発/その他民間セクター開発

副分野課題 :民間セクター開発/観光

使用言語 : (A) 英語/ (B) 西語

案件概要

各国各地域の研修員が、日本の各地方における風土、文化、歴史、伝統や、産業振興の歴史、それらを踏まえた産業集積の現状、それらを可能にする仕組み、組織体制等について学び、研修員の母国や担当する地域の状況に応じて、日本の各地方における取組の模倣を促す機会を提供すべく、研修として実施するもの。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 各国各地域の研修員が、日本の各地方における、地域の特色を活かした産業振興の事例を元に、各国各地域の現状に応じた産業振興施策を検討し、実施することが出来るようになることを目指す。</p> <p>【成果】 (1) 参加各国の地場産業を生かした産業振興の現状分析ができる。 (2) 日本の地方の特色を生かした産業振興の実態を理解する。 (3) 地場産業を生かした産業振興の進め方の理解を深める。 (4) 産官学が連携した産業振興への関わりを理解する。 (5) 本研修を通じて得た学びを踏まえ、地域の特色を活かした産業振興に繋がるアクションプランを提案する。</p>	<p>【対象組織】 中央省庁の地方における産業振興施策担当部門、地方自治体の産業振興施策担当部門、地方の商工会等民間経済団体</p> <p>【対象人材】 産業振興施策担当者/在職1年以上/施策案を対象とする国や地域のために熱意をもって粘り強く執り進めることが出来ること</p>

内 容	本邦研修期間
<p>講義及び視察：日本の地方、各地域において、様々な代表的な名産品が生み出された歴史的な背景や状況等を、具体的に乗り越えてきた困難な状況、問題、それらへの対応策等を含めて、関係者による講義や現場視察等を通じて学ぶ。</p>	(A) 2019/6～2019/7 (B) 2019/9～2019/10
	担当課題部 産業開発・公共政策部
	所管国内機関 (A) JICA北陸 (B) JICA九州
	関係省庁
	実施年度 2019～2021

主要協力機関 (A) 調整中/ (B) 調整中

特記事項及びホームページ